レジメン名	アテゾリズマブ＋nab-パクリタキセル
がん種	乳癌

一般名	投与量	単位
アテゾリズマブ	840	mg/body
nab-パクリタキセル	100	mg/㎡

4週で1コース

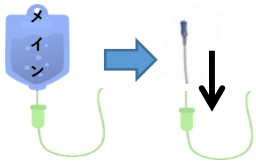
day 1 ・・・ 8 ・・・ 15 ・・・ 22 ・・・ 29 ・・・ 36 ・・・ 43 ・・・

1コース　2コース

day1・day15

メイン

曝露防止の観点より、
あらかじめメインの輸液から
側管用ルートの
プライミングを行い、
びん針の先に接続チューブを
セットして準備する。



生食
(250ml)
ルート
確保

30分

30分 ⓥ

全開

ルート確保用輸液は、所要時間
に合わせて適宜速度調節する。

側管

経過時間

0 :30 1 :30 2 :30 3 :30 4 :30

(30分) ⓝ
1時間

テセントリク
生食(250ml)
0.2μm、または
0.22μmの
フィルターを使用

等速フラッシュ　生食(50ml)

グラニセトロン
バッグ

アブラキサン
生食(100ml)

生食(50ml)
フラッシュ用

初回時投与時の認容性に
問題が無ければ、
2回目以降はテセントリクの
投与時間と観察時間を
30分まで短縮可。

最後は、針先が抗癌剤を含まない
輸液に満たされた後、抜針する。

day8

メイン

生食(250ml)
ルート確保用

アブラキサンの
投与時は、
メイン輸液を
停止する。
残破棄可。

アブラキサンは
フィルター禁止。
通過しません。

テセントリクとは
別のルートで投与。

側管

経過時間

0 :30 1 :30 2 :30 3 :30 4 :30 5 :30 6

30分　グラニセトロン
バッグ

30分 ⓥ　アブラキサン
生食(100ml)

全開　生食(50ml)
フラッシュ用